

2003 年京大文 5

4 チームを、 A, B, C, D とする。

全試合数は ${}_4C_2 = 6$ 試合であり、これらの勝敗の組み合わせは、 $2^6 = 64$ 通り。

4 チームは各 3 試合を行い、4 チームの勝ち数、負け数を合計すると、いずれも 6 である。

1 位の成績が 3 勝 0 敗のとき

例えば A が 3 勝したとき、 B, C, D は少なくとも 1 敗しており、 A が出場しない 3 試合の結果に関わらず、

A が 1 位である。 A が 3 勝 0 敗で 1 位になるような勝敗の組み合わせは、 $2^3 = 8$ 通り。

B, C, D が 3 勝 0 敗で 1 位になる場合も同様である。

いずれか 1 チームが、3 勝 0 敗で 1 位になるような勝敗の組み合わせは、 $4 \times 8 = 32$ 通り。

1 位の成績が 2 勝 1 敗のとき

i) 3 チームが 2 勝 1 敗、1 チームが 0 勝 3 敗 ii) 2 チームが 2 勝 1 敗、2 チームが 1 勝 2 敗
のいずれかである。

i) の場合を考える。このとき、1 位のチームは 3 チームである。

いずれか 1 チームが 3 敗するので、どのチームが 3 敗するかが 4 通り。

例えば、 D が 3 敗したとき、1 位の 3 チーム、 A, B, C 間での勝敗の組み合わせを考えると、

A が B に勝てば、 C には負ける。すると、 B は C に勝つ。

A が C に勝てば、 B には負ける。すると、 C は B に勝つ。

すなわち、 A, B, C 間での勝敗が 1 勝 1 敗になる組み合わせは、2 通り。

3 チームが 2 勝 1 敗で 1 位になるような勝敗の組み合わせは、 $4 \times 2 = 8$ 通り。

4 チームの成績が並ぶことはないから、ii) の場合の勝敗の組み合わせは、 $64 - 32 - 8 = 24$ 通り。

以上により、1 位のチーム数の期待値は $1 \times \frac{32}{64} + 2 \times \frac{24}{64} + 3 \times \frac{8}{64} = \frac{1}{2} + \frac{3}{4} + \frac{3}{8} = \frac{13}{8}$ …… (答)